

# 「ダイヤモンドランキング」で コミュニケーションを学ぼう

「フードマイレージ買物ゲーム」で、買物と環境のつながりを学んだあとは、  
「ダイヤモンドランキング」でさらに学びを深めることができます。

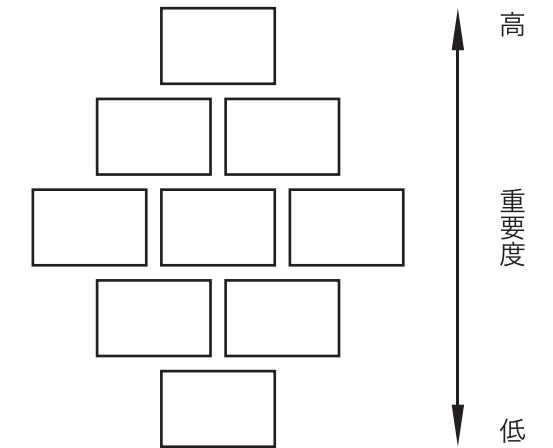
- step 1 ダイヤモンドランキングの項目の説明をします。
- step 2 自分が市長になったとしたら、どのような政策を重要視するかを考えて  
マスに自分の意見を書き込んで理由をまとめます。
- step 3 グループで話し合い、グループで1つのダイヤモンドランキングを作ります。

「ダイヤモンドランキング」については資料編12ページ、または、  
<http://www.aozora.jp.org/siryohen/12sityou.pdf> にも掲載しています。

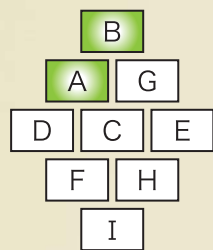
ダイヤモンドランキング  
9つの政策

- A 農地の確保・整備
- B 農業の担い手育成
- C 物流のモーダルシフト(鉄道輸送)
- D 環境にやさしいクルマの普及
- E 地元産の農産物の売り場の拡充
- F わかりやすい食品マークの提示
- G 地産地消のライフスタイルの普及
- H 買物に徒歩・自転車を促進
- I コンパクトシティへ都市構造を改変

## ダイヤモンドランキング 9つのマス



### 農業が一番



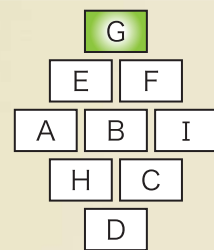
(政策A・Bを優先)

● 農業が魅力のある職場で金儲けができるというのがわからないと、担い手が増えず、農地が増えないと思う。親が農業しているのを見て、いいなと思ってもらえるような環境を作っていけば担い手が増えていく。そうすれば自ずと農地が増えていくと思う。

● ゲームの結果でフードマイレージが多くなってしまったので、近くで農家の人が増えないといけなく、と考えてB(農業の担い手育成)を1番にした。フードマイレージが少ないええものを食べたい。車はそのうちに良くなるのでは？



### 身近なところから変えていこう



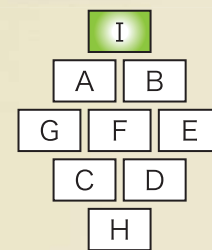
(政策Gを優先)

● 身近な需要から変えていきたい。そのためにはライフスタイルを変えて、供給を変えていく。地産地消のライフスタイルが根付いたら、産地は近くになっていくと思う。モーダルシフトは現状のままで進んで行くのではないかと思う。

● まず私たちが出来ることから始めることが必要。地産地消を心がけても買物に自動車を使ってしまうとそれ以上の二酸化炭素が出てしまう。だから食材だけではなくて、買物の交通手段にも気をつけるべきだと思う。



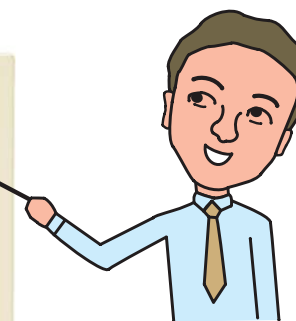
### 計画から変えていこう



(政策Iを優先)

● きちんとした都市計画がないと始まらない。抜本的に都市構造の作り方を考える。それに伴う環境整備を行っていく。

● 農地が減って、宅地や商業地にかわっていている状況を考えると、農地を計画的に保全する必要があるのではないか。一旦、宅地や倉庫にしまったらもう農地に戻すことはできない。



松村 暢彦  
大阪大学大学院  
工学研究科准教授

### まとめの コメント

I (コンパクトシティへ都市構造を改変)のとりえ方が1つのポイントですね。

長期的な視点を重視するグループは、都市構造を変える政策の重要度が高くなりますし、短期的な視点を重視するグループは重要度が低くなっていますね。

「フードマイレージ買物ゲーム」では、環境も配慮した個人の意思決定を学びます。「ダイヤモンドランキング」では、グループのみんなで自分の価値観を出し合いながらコミュニケーションを通じてグループの政策の重要度を決めます。こうすることで集団の意思決定の難しさと必要性を学びます。

システムがかわらないと自分の行動はかわらないというのではなく、ひとり一人が社会のことを学び視野を広げて協調的な行動を取ることで社会を変えていくアプローチは重要だと思います。誰かに任せただけではいい社会にはいきません。ひとり一人が社会参加することに、良い社会を作っていく光明があるのではないかと考えています。

「ダイヤモンドランキング」  
をやってみよう!!

ここでは環境問題を学ぶ神戸市シルバーカレッジで  
実践したものを紹介します。

9つの政策は、.....  
農業(A・B)、輸送(C・D)、消費(E・F・G)、交通(H・I)に大分でき、  
各グループの選択指向性を把握することが可能です。